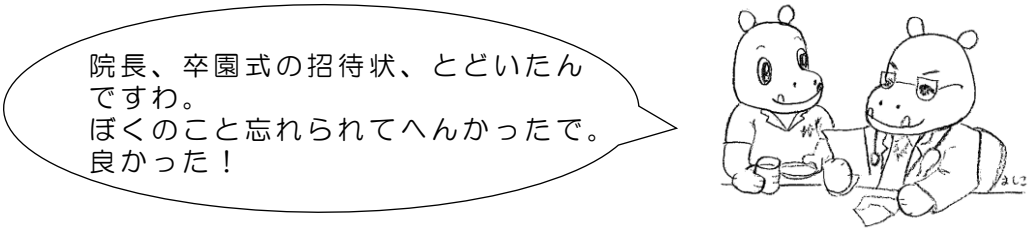
あいあいつうしん

No. ５０３
2020（令和２）
3.23

編集 京都ライトハウス
視覚支援 あいあい教室
TEL：075-462-4462
FAX：075-462-4464
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

今年は暖冬で、京都ではほとんど雪に出会わないまま3月を迎えました。お天気のよい日は春らしい風が心地よく、桜もつぼみをふくらませています。この1年間、みんなと一緒に過ごした日々。いろいろな経験を一つ一つ積み重ねて、大きくなった子どもたちです。4月からの新しい出会いを楽しみに、自信を持って歩んでいけるといいですね。

それでは、３月号のつうしんをお届けします。



3月･4月の予定～児童～

21 日（土）・25 日（水）・26 日（木）　卒園児お別れ会
28 日（土）～４月４日（土）　通園春休み
４月６日（月）　通園始まり

※３月中は引き続き、後期個別懇談を行います。

※３月９日（月）に予定していた『Ė ママのベビーマッサージ』は、来年度に延期します。

※３月 29 日（日）に予定していた『第 43 回卒園式』は新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止し、年長児在籍の各グループで『卒園児お別れ会』を実施します。

★３月末に各部屋の清掃を行います。お子さんの引き出しの荷物は通園最終日に必ず持ち帰りいただき、新年度に再度持ってきてください。

★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★

京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしんWeb版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web版もぜひご覧ください！

児童

★おたんじょうびおめでとう 3月生まれのおともだち★

K さん　２歳になります

名前を呼ばれると嬉しくて、ニコニコの笑顔で歩き出すK̇ちゃん。「ままーままー」と声を出してご機嫌。友だちと一緒に、シーソーブランコや大型ブランコに乗って遊ぶのも大好きだよ。これからもたくさん遊ぼうね！

B さん　４歳になります

大きな丸い大根を、みんなで触ったり、引っ張ったり…「おっきいなぁ！」と笑顔いっぱいで観察。最後は、とってもおいしそうに食べていたḂちゃん。４月からは遠く離れてしまうけれど、これからも応援しているからね。

H さん　５歳になります

お絵描きや折り紙が大好きなḢちゃん。いつもとても熱心に取り組んでいますね。友だちと一緒にクッキングをしたり、遊ぶことも大好き。これからも、いろいろなことにチャレンジしていこうね！

N さん　５歳になります

お友だちが大好きで「いっしょにあそぼう」と誘うṄちゃん。絵本の時間にルーペを使いながら楽しんでいる姿もかっこいいね。Ṅちゃんの好きなことや、自信を持ってできることを一緒に増やしていこうね！

D さん　５歳になります

いつも元気いっぱいのḊちゃん。自分で考えながら作る製作が、とても楽しそうだね。友だちと一緒にするごっこ遊びも大好き。「Ḋもしたいな」と、いろいろなことに興味が広がってきているḊちゃんです！

S さん　５歳になります

「Ṡくん〇〇できるよ！」と張りきる姿が増えてきたṠくん。ボーリングで遊んだときは、いっぱいピンが倒せるように考えながら転がしたね。これからもお友だちや先生と、楽しい遊びをたくさん経験しようね！

Ｏ さん　　５歳になります

ボール遊びが大好きなȮちゃん。ボーリングをしたときは、ピンに向かって「やー！」とボールを思いきり投げたね。お友だちと１本橋渡りにも挑戦！“もう１回”と自信いっぱいの笑顔がとてもすてきだったよ。

Ａ さん　　６歳になります

絵本や製作が大好きなȦくん。折り紙で紙飛行機を作ったときは、折り方をいろいろと工夫していました。みんなで何度も飛ばして、笑顔いっぱいでしたね。4月からは1年生。新しい生活を応援していますよ！

年長児 お母さんからのメッセージ

先月号に引き続き、年長児のお母さんからの卒園に向けたメッセージを紹介します。

その18 Ｌ さんのお母さん

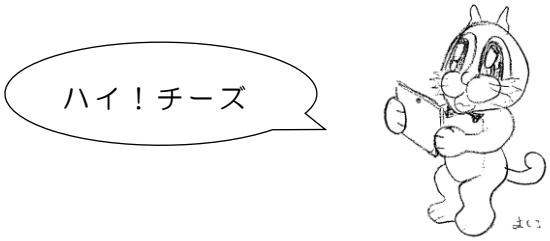
Ḷは年中の4月からあいあいに通い始めました。

両目に先天性白内障があり、生後5ヵ月で手術し、その後はコンタクトレンズ生活です。首もすわっていない赤ちゃんにコンタクトレンズを入れるのは想像以上に大変で、眼科の先生に何度も「無理です!!」と泣き言を言いました。30分かけて入れたのに30分しか装着できず、また30分かけて外すという地獄のような日々。当時の通っていた保育所の先生が「一緒に頑張りましょう!!」と外す練習を一緒にしてくれました。それがきっかけとなり私も前向きに考えるようになり、“入れる”“外す”が少しずつスムーズにできるようになりました。あいあいに通い始めてからḶは「見ること」が上手にできるようになり、明るさ・活発さも日に日に増していきました。今ではすっかり安心できる場所となったようで、好き放題やっています。私も見えないことがどういう状況かを知ることができ、時には「あっ、これは見えてないな…」と気づくこともできるようになりました。何より、コンタクト仲間ができたことが心強かったです。先生方には保育所生活でのアドバイスを沢山していただき、普段の生活の相談にものっていただきました。とても感謝しております。残りのあいあい生活、目一杯楽しみたいと思います♪

その19　F さんのお母さん

Ḟは昨年度の途中からあいあい教室に通わせていただいていました。通い始めてすぐに、Ḟは優しい先生が大好きになり、あいあい教室が大好きになりました。先生方がいつ通っても温かく迎えてくれて、丁寧にご指導してくださったお陰です。ありがとうございます！

就学に向けて、不安でいっぱいだった母親の私の話を親身に聞いてくださり、通っている保育園への訪問やこれから通う小学校の先生ともコンタクトをとってくださり、Ḟがどうすれば、スムーズに生活できるかを、いつも一生懸命一緒に考えてくださる先生方に何度も助けて頂きました。お世話になった先生方、一緒に過ごしたお友達、保護者の皆さん、本当にありがとうございました！



ともだち紹介ーその1ー

R さんの巻

はじめまして。一昨年からお世話になっている、Ṙの母です。娘は生後３ヵ月の時にウエスト症候群を発症し、入院中の検査で目が見えにくいこと、脳に異常があることが判明しました。当時は、発作を止める為、免疫力を下げる薬を使用した影響で顔がむくみ、全く笑わず機嫌も悪いのが続き、病室から出られない毎日を送ったことを覚えています。

目の病気に関しては気になることが多々あり、セカンドオピニオンを受け、手術も二度受けました。術後全盲になり、現在は義眼を検討しています。

あいあいでは緊張からか泣いていることが多いですが、家ではマラカスやタンバリン、カシャカシャ音の鳴るシートを自分で持って遊んでおり、最近は電動歯ブラシ、滑り台、ハンモックで遊ぶことがお気に入りです。

発作や脳の問題により発達がかなりゆっくりな娘ですが、あいあいに来ると先生方やママさんたちが小さな成長に気付いて褒めて下さることに、娘も私も嬉しく思っています。通院や入院でお休みすることが多いですが、あいあいでいろんな経験をし成長してくれれば嬉しいです。

４月からもよろしくお願いします。

ご機嫌なときのニッコリ笑顔がかわいいṘちゃん。トランポリンや音の鳴るおもちゃが大好き。まだまだ泣いていることも多いけど、Ṙちゃんの楽しい遊びを一緒に見つけていこうね！

ともだち紹介ーその2ー

５歳だよ

M さんの巻

昨年の４月から、あいあい教室でṀがお世話になっています。Ṁはプリンセスに憧れるオシャレが大好きな５歳の女の子です。

生まれて３ヵ月頃より斜視があり、５ヵ月で先天性屈折異常と診断を受けました。少し離れた場所にいる母親が見つけられず、そばにいないとずっと泣く赤ちゃんでした。

地域の保育園に入り、突然走り出すお友達に戸惑ったり、初めて行くお散歩道を怖がったりと、集団での生活に馴染めずに不安を感じることも多くありました。しかし、月齢や年齢を重ねることにより、自分が置かれた世界をだんだんと理解し、安全な公園を思いっきり走ったり、ひらがなでお手紙を書いたり出来るようになりました。

弱視となったため、半月を見ても丸いお月様にしか見えず寂しい思いをすること、線からはみ出てしまう色ぬりをお友達に指摘されて涙することもあります。これからの生活で困ることもあると思いますが、本人なりの手立てを知って、自分がある世界を広げて受け入れて欲しいと願っています。

あいあい教室に通うことになり、教室でお友達と過ごしたこと、先生と学んだことを楽しそうにお話ししてくれます。本人、そして親の手立てを知るすべを伝えていただきありがとうございます。

皆さん、どうぞこれからもよろしくお願いします。

いつも笑顔がいっぱいのṀちゃん。どんなことにも積極的で、遊びを楽しむ姿がステキです。来年はいよいよ年長さん。自信を持って、いろいろなことに取り組んでいこうね！

頑張ったよ！

Ẏお兄さん、ありがとう！

６年間の長い間、あいあい教室のボランティアをしてくださったẎお兄さん。ステキなピアノをたくさん聞かせてもらいました。この春からは社会人になるẎお兄さんを、あいあいのみんなも応援しています！

Ẏです。現在、筑波技術大学保健科学部情報システム学科４年生で、この４月より東京で就職し、社会人１年生となります。現在の見え方は全盲です。

私は先天性の弱視で、０歳から小学１年生まであいあい教室に通っていました。卒園生であるというつながりもあり、高校２年生から大学４年生まで６年間夏休み期間などを利用してボランティアをさせていただきました。

これまでボランティアの中でずっと意識していたことは、「全盲であっても自分は何ができるのか」です。忘れられないのは、初めてボランティアを申し出た日の、今は亡き石田先生の次のような教えでした。

ボランティアは遊びではない。ただでさえ全盲の私たちは足手まといになりがちなのだから、人の役に立つためには他の人たちよりも知恵を絞って考えたり、神経を研ぎ澄ませて状況を把握したりして、みんなより先回りすることで初めて役に立つのだと。いずれ社会人になるのなら、そういう厳しさを知ったうえで覚悟をしてボランティアに来なさいと。

その日以来、常に試行錯誤を繰り返しながらただ単に「ボランティア」をするという目的だけでなく、自分の能力の可能性を自分で発見することや、また自身の姿を子どもたち・保護者の方々の励みにして欲しいというより深い目的意識を持つようになりました。

とは言えボランティアを始めた当初は、弱視から全盲になり、東京での学校生活でできなくなったことばかりを数え自己嫌悪に陥る中、お集まりのピアノを担当することから徐々にできる範囲を広げて、絵本の読み聞かせや、保護者の方々へ一人の当事者としてこれまでの経験談を話す機会を持たせていただくなど、先生方からも頼りにしていただき、一人の「お兄さん先生」であることを実感し、あいあいで活動するたびに私自身が存在意義を認識できる大切な時間でした。

６年間を通して学んだことは、少しずつ信頼を築き上げること。これは社会に出ても変わらないとても大切なことです。子どもたち、保護者の方々、先生方と出会えたことは一生の宝物です。本当にありがとうございました。

2月 あいあい療育風景

2月の遊びは『お買い物ごっこ』。あいあいでは、普段よく遊んでいる野菜や果物のフィギュア（実物に近い色や形、重さを実感できる物）や子どもたちが作った物を商品に見立てて遊びました。お店屋さんとお客さんとのやりとりをわかりやすくするために、子どもたちがお店役、お母さんたちにお客さん役になってもらいました。商品やお金の受け渡しも、お客さん役のお母さんたちに一人一人にゆっくり丁寧に声掛けをしてもらうことで、わかりやすく体験できました。

実際の『買い物』では、お店に行って買う物を選び、カゴに入れてレジに運びます。そして、お店の人にお金を払い、袋に入れて持ち帰ります。見えにくい子どもたちにとっては、これら一連の動作を体験したことがないとわかりにくいものです。

ぜひおうちでも、子どもたちと一緒に買い物体験ができるといいですね。自分で物を選ぶことや、レジで実際にお金を払うことなど、いい経験につながります。お店では触りにくい商品もあるので、家に帰ってから買った物をゆっくり観察できると、とてもわかりやすいですね！

お店役の子どもたち

『京都ライトハウス後援会』のご加入について

京都ライトハウスは、視覚などに障がいのある方々の支援に努めています。今後の視覚障がい者福祉の向上と京都ライトハウスの安定した運営のためにも『京都ライトハウス後援会』にご加入いただき、温かい善意をお寄せいただけると大変嬉しく思っています。

- ●会員賛助金　2,000 円
- ●郵便振込　郵便振替口座　記号番号　00960-5-153295
- ●銀行振込　京都銀行　金閣寺支店　普通預金　418839
- ●口座名　社会福祉法人　京都ライトハウス

★あいあい教室の職員まで、直接お渡しいただいても結構です。

＊今月の一言①＊

外出がしにくい毎日は辛い。春休みの旅行も映画もカラオケも我慢。お世話になった方々の送別会も中止や延期。早く日常に戻りたいですね！　古川

あいあい放課後デイ・かわら版

あいあい教室の放課後デイが事業拡大という新たな一歩を踏み出し、１年が経とうとしています。辺りの木々には、春を迎える準備をするようにゆっくり膨らんでいくつぼみたち。新芽を育む樹木のように、新しい季節に向かって自分らしく成長していく子どもたちを頼もしく思うこの頃です。

お知らせ

＜休所日の予定＞

・３月７日（土），14日（土），21日（土），28日（土），４月４日（土）
・３月30日（月），31日（火）＊新年度準備のため

活動風景

●●点字付き“お坊さんめくり”のご紹介●

先月号でお伝えした坊主めくりブームは、今なお健在。今月号は、実際に放課後デイで使っている点字付きの百人一首を紹介します。

この“お坊さんめくり”は、ライトハウス内の情報製作センター（点字出版所）が販売している“京ラ（京都ライトハウス）の百人一首シリーズ”の一つ。絵札に、詠み人の名前と歌の通し番号が点字シールで貼ってあります。札の上下には、“殿はウ”“姫はメ”など種類を表す点字が並んでいて、触って弁別することが可能です。また、横長に置くと左上の角が丸くカットしてあり、点字を読む時に札の向きがわかりやすくなっています。

初めは種類を弁別するのに悩んでいた子も、遊びを重ねていくうちに札の方向を合わせて触り、「坊主やぁ…」「姫でたー！」と自信を持って答えるように。坊主めくりで遊んだ経験のない子も誘って、札をゆっくり見たり触ったりしながら、一緒に輪の中へ。いろいろな遊びを知って興味を持つことや、楽しみを広げる機会を大切にしています。子どもたちのはしゃぐ声や思わずこぼれる笑顔、時には負けて悔しそうな姿。自分でわかる嬉しさや、友だちと遊びを共有する楽しさが表れているなぁと感じる光景です。

＊今月の一言②＊

日々の報道に、当たり前の毎日が掛け替えのないものだと改めて痛感する。花咲く春を信じて、子どもたちと過ごす一日一日を大切に歩んでいきたい。　椹木（さわらぎ）

編集人　古川 千鶴　〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11　社会福祉法人　京都ライトハウス　視覚支援　あいあい教室　Tel：075-462-4462